



連合山形 2025春季生活闘争キックオフ集会

みんなでつくる! 賃上げがあたりまえの社会



2025年2月6日(木)大手門パルズにて「連合山形2025春季生活闘争キックオフ集会」を開催しました。主催者を代表し船山会長は「物価上昇は依然とどまることを知らず、実質賃金は安定して前年比プラスを見るに至っていない。適切な価格転嫁を促進し、賃上げによる地域経済の好循環を実現することが重要。賃上げの流れを途切れさせないために、労働組合が主体となり、連合運動の意義や必要性を地域のみならずにも広くアピールし、働く仲間へ寄り添ったこれまで以上の取り組みを展開する必要がある。2025春季生活闘争の勝利に向けてともに頑張っていこう」と、大会に参加した約80名を前に熱く訴えました。

2025春季生活闘争 闘争開始宣言(案)

2025春季生活闘争において、未来を創るのは私たち自身である!

23闘争・24闘争で私たちは賃上げの機運を作り上げ、大きな一歩を踏み出した。25闘争で、この賃上げの流れを後退させるわけにはいかない。動き始めた賃金・経済・物価を安定した「巡回軌道」に乗せる年こそが、今次2025春季生活闘争である。

この賃上げをもってしても、生活向上を実感できている人は少数にとどまり、いまだに賃金が物価上昇に追いついていない。慢性デフレを完全払しょくするには、「賃上げで手取りが増えるのはあたりまえ」という社会的規範「ノルム」に変え、「賃金も物価も緩やかに上昇する社会」を実現するチャンスである。

その役割を果たすため、先頭に立ち声を挙げるのは、私たち労働組合である。労働組合には、職場を変える、暮らしを変える、そして社会を変える力がある。今こそ、働く仲間一人ひとりの生活向上への期待に応えるため、賃上げを中心とする「人への投資」「未来への投資」を起点とした、「みんなの春闘」を展開しよう。

働く仲間の生活向上には、適切な価格転嫁・適正取引の促進とこれらに対する消費者の理解も欠かせない。連合がめざす「働くことを軸とした安心社会」の実現に向けて、みんなで声を挙げよう。

物価上昇に負けない、持続的な賃上げを実現し、新たなステージのもとで山形県の経済社会の好循環と活力を実現する。連合山形は、「みんなでつくる!賃上げがあたりまえの社会」を合言葉に、最後まで一丸となって闘い抜くことを誓い合い、ここに2025春季生活闘争の開始を宣言する。

2025年2月6日連合山形
「2025春季生活闘争 キックオフ集会」

引き続き、山形県経済社会研究所 村山 幸一専務理事より、「山形県内企業の価格転嫁に関する動向調査」と題して、なかなか進まない適切な価格転嫁の現状をご報告いただきました。

次に2つの構成組織から代表して、自動車総連山形地方協議会 石山 智規議長と、UAゼンセン ヤマザワ労働組合 大場 健太郎 中央執行委員長より、情勢の報告をいただきました。

その後、連合山形の石川副事務局長および佐藤企画組織部長から2025春闘の取り巻く情勢と闘争方針が提起され、最後に、連合山形の納富 副会長が「2025春季生活闘争 闘争開始宣言（案）」を読み上げ、参加者全員の確認で2025春季生活闘争をスタートしました。

2025春季生活闘争 要求内容

賃上げ要求水準

- ◆賃金カーブ維持相当分（1年・1歳間差）： 4,500円
 - ◆賃上げ分（270,765円×4%）： 11,000円
 - ◆格差是正分： 3,000円
- 《目標値：6%以上 金額では「18,500円」（6.83%）とする》

連合山形 2025春季生活闘争方針の概要

- 動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡行軌道に乗せる年にしなければならない。すべての働く人の持続的な生活向上をはかり、新たなステージを定着させることをめざす。
- 「賃金も物価も上がらない」という社会的規範（ノルム）を変えるのは今である。ノルムを変え実質賃金が継続的に上昇することで個人消費を拡大し、賃金と物価の好循環の実現をめざす。
- 社会や産業・企業を維持・発展させていくため、「人への投資」をより一層積極的に求め、持続的な生活向上の実現をめざす。
- 持続的な賃上げと格差是正が実現できる環境をつくっていくため、適切な価格転嫁・適正取引の取り組み強化、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配を通して、労働条件の改善にも結び付けていく。

《お知らせ》

「2025春季生活闘争勝利！ 総決起集会」の開催について

- 日時：3月1日（土）
 - デモ行進 13：20～14：00
（第二公園～山形市民会館 予定）
 - 総決起集会 14：00～16：00

■会場：山形市民会館

一致団結して、6%以上の賃上げを勝ち取ろう！！



山形県経済社会研究所
村山幸一 専務理事



自動車総連山形地方協議会
石山智規 議長



UAゼンセン ヤマザワ労働組合
大場健太郎 中央執行委員長

残高や入出金を
いつでも・どこでもスマホでチェック！

ろうきんアプリ

詳しくはこちらから

※本アプリは無料でご利用いただけますが、アプリのダウンロードや利用時にかかる通信料はお客さまのご負担になります。

東北労働金庫
<https://www.tohoku-rokin.or.jp>

こくみん共済 0624A002

マイカー共済

自動車総合補償共済
最大6間で
掛金の目安がすぐわかる！

クイック見積りはこちらから

ご不明な点はお気軽に
お近くの店舗まで

こくみん共済 山形推進本部
（山形県労働者共済生活協同組合）